

# ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2022年3月29日発行 【再刊第9号】

## 今号の話題

- ジャパントラベルフェアで  
千歳観光を発信
- ぐるっと千歳サイクルマップ  
周遊促進を期待し発行
- 美笛キャンプ場  
完全ネット予約制に移行

## ジャパントラベルフェアに参加

シンガポールで開催 北海道・千歳の観光をPR

千歳観光連盟は2月23～25日の3日間、シンガポールで開催された日本政府観光局（JNTO）主催のジャパントラベルフェアに参加しました。会長の小田賢一らが同国を訪問。現地旅行会社などの関係者に日本と北海道、そして千歳観光の魅力をPRしました。



フェアのオープニングに出席した関係者



千歳の観光を発信したPRブース

北海道エアポート（HAP）が初の海外プロモーションとして出展が決まったことから、道内7空港が所在地する地域の関係者に同社が参加を呼びかけました。これに呼応する形で、観光連盟は市内事業者であるザ・ノースカントリーゴルフクラブ、サケのふるさと千歳水族館、株式会社アトリエの3者と連携して参加しました。

フェアには日本側19社・団体、シンガポール現地旅行会社は7社・団体がブースを出展。シンガポールでは全人口の約7割が日本へ行った経験があり、その中でも

北海道は知名度がナンバー1。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた旅行自粛が解禁された今、旅先として北海道が大人気。本道関係者のブースには人だかりができていました。北海道の魅力は「海鮮がおいしい」「自然が豊か」「品物の品質が良い」「冬は雪が魅力」などがあるとのこと。

観光連盟はブースで千歳の自然や味覚、観光スポットの魅力を広くPRしました。また今後の誘客促進のため、旅行代理店や航空界社なども訪問し、千歳の観光資源を周知しました。現地では旅行需要やニーズも調査するなど、今後の千歳の観光振興に活かすべく、情報収集に努めました。

海外観光客の日本への渡航制限も解除され、多くのインバウンドが北海道を訪れています。より多くの人が千歳に滞在し、地域振興につながるよう、引き続き誘客の取り組みを進めて行きます。

## ゴルフツーリズムさらなる推進

宮崎・AGTCに参加 千歳を発信



千歳へのゴルフ客の集客を  
目指して地の利やプレー環  
境をアピール

観光連盟は3月14～16日に宮崎  
県宮崎市のフェニックスシーガイ  
アリゾートで開催された「アジア  
ゴルフツーリズムコンベンション  
(AGTC)」に千歳商工会議所と  
連携して参加しました。国際ゴル  
フツアーオペレーター協会主催、  
観光庁、同県、同市が支援してい  
ます。

国内旅行会社のバイヤーとゴル  
フ場、ゴルフリゾート、ホテルな

どのセラーの商談会です。アジア  
各国で年1回開催され、日本では  
初開催でした。

千歳市内はもちろん、空港周辺  
には多くのゴルフ場があります。  
観光連盟では千歳地域へのゴルフ  
誘客、アフターゴルフ観光客促進、  
今後の千歳地域でのゴルフツーリ  
ズムの発展・進化に向けたゴルフ  
コンベンションの参考にするため  
参加しました。

千歳からはザ・ノースカント  
リーゴルフクラブが出展し、千歳  
観光のPRにもご協力を頂きまし  
た。また連盟の職員らが宮崎県観  
光協会や物産団体のほか、市観光  
協会、市商工会議所を訪問し、観  
光需要に関してヒアリングを行な  
いました。

観光連盟は昨年秋に宮崎市内  
で「秋の北海道グルメ うまいっ  
しょフェア」を開催し好評を得ま  
した。今後も宮崎県と千歳との交  
流人口拡大を図る方針です。

## サイクリングで千歳の魅力発見！！ ぐるっと千歳サイクリマップが発行



千歳のスポットを紹介したモ  
デルコースを掲載

観光連盟はこのほど「ぐるっと  
千歳サイクルまっぷ」を発行しま  
した。市内のスポットを巡るサイ  
クリングコースを提案するととも  
に、千歳の魅力を発信します。  
連盟では5月の大型連休前の4  
月下旬から、電動アシスト自転車  
の貸し出しを再開します。これに  
合わせてのマップ発行です。

マップは①「支笏湖ネイチャー  
ライド」②「千歳サーモン&グル  
メライド」③千歳ファクトリー&  
グルメライド④千歳パワースポツ

トライド⑤千歳ファーム浪漫ライ  
ド⑥千歳ショッピングライドの6  
モデルコースを提案しています。  
どのコースもそれぞれグルメや  
ショッピング、自然や工場といっ  
た千歳ならではの魅力を満喫でき  
るスポットを盛り込んで企画しま  
した。

マップにはコースの距離やおお  
よその所要時間も明記していま  
す。観光客や時間に余裕のあるビ  
ジネス客に千歳の魅力を感じても  
らおうと、イラスト付きでスポツ  
トも盛り込みました。千歳在住の  
市民がマップを利用してサイクリ  
ングを楽しめば、今まで知らな  
かった地元の新たな魅力発見につ  
ながるかもしれません。

今年は電動レンタサイクルの台  
数を増やして貸し出しサービスを  
ご提供します。マップは観光連盟  
事務所、市内宿泊施設、支笏湖地  
域をはじめ市内の人が集まる観光  
スポットなどで配布予定です。

## サケ稚魚の放流体験

「元気でね」元気にすいすい

サケのふるさと千歳水族館で、サケの稚魚放流体験が始まりました。入館者が容器に入った稚魚を水族館近くの小川に放す毎年恒例のイベントで、参加者は川を元氣よく泳ぐ稚魚に目を細めています。

5月31日までの開館日

の決められた時間内ならいつでも参加できます。



小川にサケの稚魚を放す家族連れ

水族館によると、サケは春に川から海へと旅立ちます。北太平洋で成長したあと、多くは3年後に秋の産卵のために生まれた川へと

へと帰ります。水族館ではサケの旅についてパネル見学後、稚魚を小川に放流します。

3月のある日曜日の水族館。例年より穏やかな気温に雪もすっかり解け、多くの観光客が訪れていました。放流参加者は稚魚の入った小さな容器を手に、小川に設けられた半分に割ったパイプで滑り台のようにして稚魚を放しました。稚魚たちは小川ですいすいと元氣よく泳いだ後、水中に見えなくなっていくようです。やがて千歳川へと向かうのでしょうか。

参加者は家族連れが多く、放した稚魚に手を振りながら「元気でね」と見送る子どももいました。外国人観光客も注目し、特に仏教国のタイでは生き物を野生に放す事は功德につながるとのこと。日本人観光客とは違った意味での人気です。予約不要で無料。午後11時～同20分まで、午後2時～同20分の1日2回受け付けています。

## 美笛キャンプ場を完全ネット予約制に 混雑緩和 利便性の向上を目指して



ネット予約に移行する美笛キャンプ場

昨年10月に実施したネット予約のトライアルで利用が好調だったことを受けた本格実施。ホームページ上で事前に必要事項を記載する事で、従来キャンプ場窓口で所定用紙に記載していた手間を省略でき、スムーズな入場を実現します。これにより混雑を解消する狙いです。

4月28日に今季の開場を迎える美笛キャンプ場の利用について、3月28日から完全ネット予約制へと移行しました。合わせてチェックイン・アウト時間も変更します。従来の体制で発生していた混雑を緩和し利用客の皆さまの安全や利便性に寄与する目的です。

同キャンプ場は千歳市の受託により指定管理者として観光連盟が管理・運営しています。

またチェックイン・アウト時の利用者集中で自動車が排出する二酸化炭素の削減により、環境負荷低減につなげたい考えです。

また従来の「午前7時～午後7時にチェックイン。午前11時までチェックアウト」を、今年から「午前11時～午後7時にチェックイン、午前7時～同10時にチェックアウト」に変更。午前10時～同11時のリードタイム1時間をトイレや水場のより徹底した清掃に充てる事で、利用者の快適なアウトドア環境を実現します。皆様のお越しをお待ちしております。

## イベント情報

▼支笏湖湖水開き（2023年4月16日、支笏湖園地）支笏湖まつり実行委（事務局・観光連盟）主催。支笏湖地域の観光シーズンの幕あけを告げる。関係者が参集して神職が神事を行ない、無事故、千客万来、コロナ収束を祈願する。



▼第43回JAL国際マラソン（2023年6月4日、真々地泉沢大通、道道支笏湖公園線など）千歳体育協会、日本航空、北海道新聞社の主催。千歳観光連盟後援。フルマラソン、17キロの各種目、年齢別の各部門ごとにタイムを競う。

## 職員紹介

### 川口 達也

かわぐち たつや

○1995年5月生まれ。鹿児島県鹿屋市出身  
○所属 観光部  
地域連携課  
○趣味 サッカー、F1、  
野球の観戦

2022年度よりANA新千歳空港から出向し、堤貴史課長と一緒に業務に携わっています。美笛

キャンプ場の管理・運営、千歳観光物産サテライト・ミルや駐車場の管理などです。千歳は空の玄関口ですが、観光地としては馴染みが薄く、出向で魅力的な場所を知ることができました。

航空業界はお客様がまた乗りたいたいと思っただけのサービス提供を意識しています。観光連盟でも1回訪れたから次は札幌へ：ではなく、毎年北海道といえは千歳から旅をスタートしていただき、



丁寧な物腰の川口さん。一押しは市内流通のキャンプサイトです。

市内を楽しんでもらえるような案内を心がけています。

業務では市内事業者様と出会うひとときを大切にしています。困りごとや悩みを解決すべく、密に連携を図ることが地域発展に繋がると思っています。引き続き出会う人との縁を大切にしたいです。

サッカーは2歳からファンクラブ加入の名古屋グランパスサポーター。F1は決勝をリアルタイム観戦します。ドライバーが注目されますが、私はメカニック陣を注視。そのチームプレーを意識し、普段の仕事にも活かしています。

## 編集後記

大規模な半導体製造のラピダスの工場立地やウイスキー工場建設の話題など、千歳市内では2022年度末に大きな動きが相次ぎました。

千歳は既に千歳ワイナリー、キリンビール北海道千歳工場があるなど、「お酒のまち」でもあります。そこにウイスキー工場が立地すれば、さまざまな好みの左党諸氏のニーズにマッチした、新たな観光が実現しそうな予感です。ホテルや飲食店では千歳や近隣でとれた食材を味わい、地元のお酒でほろ酔い気分…。あるいは酒蔵巡りツアーを企画しても面白そう…などと想像が膨らみます。千歳に広がる豊かな未来。開かれる大きな夢に早くも酔う編集子です。（ひ）